

2024 年度アジア大気汚染研究センター（ACAP） 一般公開開催報告

2024 年 8 月 1 日（木）に昨年に引き続き当施設の一般公開を開催しました。

小学校 4 年生以上の児童及び中学校の生徒 38 名にご来場いただきました。

参加者は、最初に座学として、ACAP の活動や PM2.5 などの大気汚染について学習いただきました。

座学後は、施設内や実験室を廻り、クイズラリーをしながら、酸性雨や PM2.5 について、川の成分の化学分析、大気汚染物質の排出状況や予測を行うシミュレーションモデル、ACAP が取り組む国際協力について学習いただきました。後半の実験体験では、土や模擬的な雨水を使い、pH 試験紙を用いた実験を通し、酸性雨が緩衝や風化を経て中和される地球の力を実感いただきました。

今年度は大気環境学会の「大気環境未来」の助成対象事業に選定されました。その活動の一環として、参加者のご理解・ご協力を頂いて今回の一般公開の様子を撮影し、学習動画を作成しました。

今後、動画の配信を通して、新潟市の近隣の住民の方だけでなく、日本全国の子どもたちに向けた大気環境に関する学習機会を提供していきたいと考えております。



ACAP 活動地域（東アジア 13 か国国旗）



記念写真



大気汚染の説明



花火の煙を大気汚染物質に見立てて水（雨）と混ぜて、みんなで実験用サンプル作り



PM2.5の大きさを実感してみよう



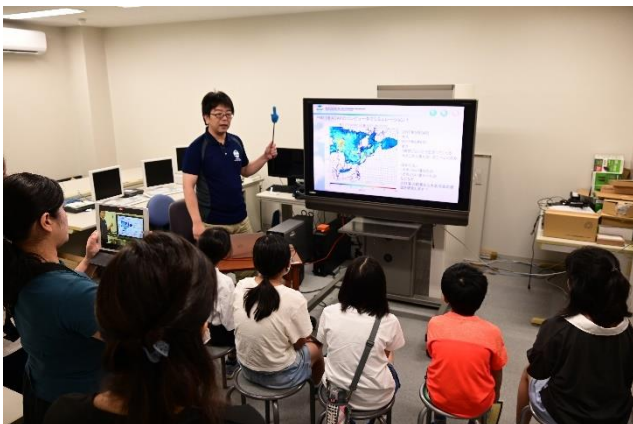
クイズラリーをしながら施設見学



降水サンプラーを使用した説明



川の成分の化学分析



大気汚染の計算(シミュレーション)を説明

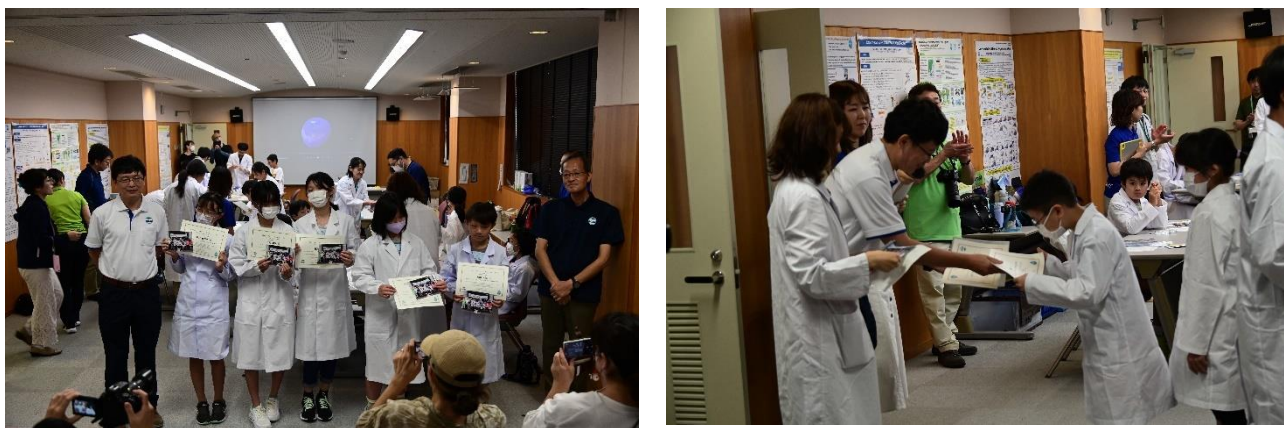


ACAP が取り組んでいる国際協力の説明





酸性の水に土や炭酸カルシウムを混ぜた後、ろ過して、pH を測ると、中和されたことを確認



最後に参加証を授与



ご参加いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。私たちの一般公開が環境問題を考える良いきっかけとなれば幸いです。

来年も夏休みの同時期に開催を予定しておりますので、次回またお会いできますことを、ACAP スタッフ一同心よりお待ちしております。